

草の根・人間の安全保障無償資金協力 プノンペン都コークバンチョワン中学校建設計画 完成式典開催

9月20日（金）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「プノンペン都コークバンチョワン中学校建設計画」により建設された校舎の完成式が、プノンペン都ポーセンチェイ区コークバンチョワン中学校で開催されました。右式典には、日本国大使館からは樋口義広公使が出席して祝辞を述べ、パ・ソチェアトヴォン・プノンペン都知事、プノンペン都教育・青少年・スポーツ局関係者、同小学校の関係者及び生徒らが参列しました。

このプロジェクトは、2012年10月に贈与契約が結ばれ、今年3月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。

式典で樋口公使は、「同校は教室不足のため、併設小学校と校舎を共用しなければなりませんでした。本事業で7教室の校舎を建設し、中学校専用の校舎で授業ができるようになりました。本事業をきっかけに日本とカンボジアの友好関係がさらに親密になることを願っています」と述べました。

続いて、パ・ソチェアトヴォン都知事は、「内戦終結以来、日本を始めとする各国支援を受けながら、教師や教育関係者の努力で公平な教育アクセス向上を進め、未来のカンボジアのための人材育成に力を入れてきました。生徒のみなさんには、この新しい校舎を次の世代にも引き継げるよう、大切に使うことを希望します」と述べました。

最後に樋口公使とパ・ソチェアトヴォン都知事らが、新校舎のテープカットを行い、式典は終了しました。



樋口公使のスピーチ



式典会場



テープカット



新校舎



生徒たちと新校舎内